

令和7年度
夏休みの課題（作品の募集）

応募票、作品票、募集要項等 No.1

必要なページを印刷してお使いください。

応募の題材によって応募票、作品票、応募用紙、募集要項のある・なしがあります。応募票、作品票、応募用紙があるものに応募する場合は、必ずそれらを使ってください。

※なお、募集課題全体は、「令和7年度 夏休みの課題（作品の募集）一覧表」として、別ファイルで掲載し、紙でもお配りしていますので、必ずそちらもご確認ください。

- A 理科自由研究（市内科学展）
 - B 発明創意くふう展
 - C 読書感想文コンクール
 - D しきなみ子供短歌コンクール
 - E ごはん・お米とわたし作文・図画コンクール
 - F 社会を明るくする運動作文コンテスト
- （No.2に「G」～「L」があります。）



夏休み！ 理科自由研究の案内

もうすぐ楽しい夏休みがはじまります。今年も市内科学展が行われます。作品は、A4のレポート形式（8枚以内）で作成します。せっかくの長い長い夏休みです。『理科の自由研究』をしてみませんか。まだ、自由研究をやったことがない人も、ぜひ、この夏休みに『理科の自由研究』にチャレンジしてみましょう。

1 テーマを決めよう。

ふしぎに思うことや、学校で勉強したけれどもっと調べてみたいことをいくつかノートに書いてみましょう。そして、その中から自分でできそうなものを一つ選び、自由研究のテーマにします。（テーマを決めるときに、お家の人や学校の先生に相談するといいテーマが選べますよ。）

どうしても、テーマが思い浮かばない人は、自由研究の本も本屋で売っています。その中からおもしろそうなものやってみたいものを選んでみましょう。

本屋で売っている自由研究の本（一例）

- ・すごい!うちでもこんな実験ができるんだ!!米村でんじろう先生のスーパー個人授業 /主婦と生活社
- ・小学生の自由研究科学編 /学習研究社
- ・楽しく実験・工作小学生の自由研究 低学年編—1・2・3年 /成美堂出版
- ・楽しく実験・工作小学生の自由研究 高学年編—4・5・6年 /成美堂出版
- ・小学生の自由研究 1・2年生—調べ学習に役立つ! (3・4年生版、5・6年生版もあり) /成美堂出版
- ・やってみよう!夏休みの自由研究 1・2年生 (3・4年生版、5・6年生版もあり) /成美堂出版
- ・自由研究ガイドブック /東京書籍 などなど

2 さっそく研究開始!

研究の進め方には、大きく分けて2通りあります。テーマに合う方を選んで研究を進めていきましょう。

(研究の内容) ①科学的な研究物・工夫考案物 ②研究的に飼育・栽培したもの



ファール方式 (ていねいに観察していく)

観察 (かんさつ)

ふしぎに思ったこと・分かったこと

観察 (ふしぎに思ったことを確かめるために)

ふしぎに思ったこと・分かったこと

観察 (ふしぎに思ったことをたしかめるために)



ニュートン方式

(自分で予想し、確かめていく)

こうすれば、ああなるはずだ

実験 (じっけん)

結果

(やっぱりそうだった・あれれ予想とちがうぞ)

実験 (じっけん)

結果

(やっぱりそうだった・あれれ予想とちがうぞ)

3 けんきゅう せい か 研究の成果をまとめよう。

研究したことをみんなによく知ってもらうには、わかりやすくまとめることも大切です。

下の図をまねて、まとめてみましょう。

表紙は付けません。1 ページ目に、題名・学校名・学年・氏名を記入します。



リンゴの大変身

～リンゴの色の変わり方～

白岡市立南小学校 4年 ○○太郎

1 研究のきっかけ

なぜ、この研究をしようと思ったのか、きっかけをできるだけ詳しく書きます。

2 研究・観察したこと

研究・観察したことをかじょうがきにして書きます。やった順番に書きましょう。

-
-

3 目的

4 実験方法・観察の仕方

図や写真を入れると分かりやすくなります。準備したもの・やり方を詳しく書きましょう。

結果

言葉だけでなく、写真や表、グラフなどでも表してみましょう。実物をはりつけることができるのならはりつけてみるとよいでしょう。

分かったこと

分かったことやふしぎに思ったことを書きます。

5 研究のまとめ

全部の研究を終えて、どんなことが分かったのか、どのようなことを感じたかを書くと、かっこよくまとまります。

☆題名の字は…

- ・マンガのタイトルみたいに かっこよく。見た人が読みたくなるように工夫しましょう。

☆台紙は…

- ・A4の用紙で作成します
- ・科学展に出すなら8枚以内にまとめます

☆タイトルや文章・図・表は…

- ・違う色の紙にマジックなどで書いて台紙にはりつけると簡単できれいにまとまります。
- ・パソコンで作成してもいいです。

☆写真を活用しよう！

- ・写真をとっておくとまとめるときに便利です。
- ・色画用紙に写真をはってから台紙にはると、立体的になり目立ちます。
- ・パソコンで作成する人は、写真のデータを挿入できるとさらに分かりやすいです。
- ・個人が特定できる顔写真は、のせないようにしましょう。



☆字は…

- ・ていねいに、小さくなりすぎないようにしましょう。

☆A4サイズの紙で8枚以内です。

- ・写真やグラフなど、資料をつける場合は、8枚の中におさめてください。
- ・科学展の代表に決まった場合、データをお借りすることがあります。代表が決まるまでは、データを残しておいてください。

観察したことや実験したことはノートに詳しく記録しておくと、まとめるときに役立ちます。





発明創意くふう展



生活の中で使う道具で「こんなものがあっていいな」「こんな工夫のされているものがあっていいな」というアイデアあふれる作品を募集します。

例) 調理グッズ・掃除用グッズ・整理整頓グッズなど

出品対象 5・6年生

作品サイズ 縦45cm・横70cm・高さ70cm

重さ 20kg

以内を目安に

※作品票に作品の使い方や工夫したところなどを記入して提出してください。



----- キリトリ -----

作品名	
学校名	白岡市立南小学校
クラス・名前	年 組 名前
作品について (使い方・工夫したところ)	

【読書感想文】 原稿用紙への書き方

用紙はB4サイズの400字詰原稿用紙を使用します（A4は不可）。

原稿用紙の左上に、ナンバーを書いてください（「1」「2」など）。

1マスあける。

箱がある。

僕の教室の教卓の中に、落とし物を入れる

自由「自分の舟とは」六年 白岡 梨男

20 × 20

『西の魔女が死んだ』
梨木 香歩（新潮文庫）

題名や氏名はマスの外に書くので、1行目から本文を書き始めてください。

（読んだ本の種類）
課題図書は「課題」、
課題図書以外は「自由」と書きます。

自分の感想文の題名を書きます。
※本のタイトルではありません。

学年と氏名を書きます。

『読んだ本のタイトル』
著者名（出版社名）
を書きます。

第21回

しきなみ子供短歌コンクール

作品募集

さく

ひん

ほ

しゅう

五・七・五・七・七の三十一音にあわせて、
気づいたこと、心が動いたことを短歌によう。

しきなみ

2025年
9月30日(火)

小学校低学年の部／小学校中学年の部／
小学校高学年の部の中から、
各1名が選ばれ、しきなみ子供短歌賞並びに
文部科学大臣賞が贈られます。

募集要項

- 対象
小学校1年生～6年生
- 応募方法
裏面の応募用紙の太枠内に名前(ふりがな)、
学校名、学年をご記入のうえ、ご応募ください。1人1首まで。
*作品は自作・未発表のものに限ります。
他のコンクール等に応募した作品は不可。
(二重投稿の場合、入賞決定後でも取り消すことがあります)
応募作品の返却・訂正はいたしません。
- 応募先
応募用紙を取り扱う家庭倫理の会へ。
送り先は、別紙の「ご応募いただく際のお願い」をご覧ください。
- 賞
「しきなみ子供短歌賞」並びに「文部科学大臣賞」「特選」「入選」「佳作」
- 発表
2025年12月下旬に(一社)倫理研究所ホームページにて入選者を発表。
学校には入選速報版、入選者及び関係者の皆さまには
後日「入賞作品集」をお送りします。
- 表彰式
2026年2月15日(日)

裏面の
応募用紙に
お申し込みを！

必ずA4サイズ(原寸)に
コピーして
お使いください。

第
21
回

しきなみ子供短歌コンクール

応募用紙

倫理研究所使用欄

No.

D

※多少の字あまり、字たらずでも大丈夫。大きな字でハッキリと書いてね！

7 7 5 7 5

短歌はここに書いてください

埼玉

都と道と府と県

白岡

立市立区立

南

小学校

年

ふりがな

しうおか

みなみ

学年

名前

ふりがな

お名前と学校名

お名前はできるだけ漢字で、ふりがなも忘れずに書いてね！

受付 家庭倫理の会使用欄

一般社団法人 倫理研究所
家庭倫理の会大宮

会名

*必ず家庭倫理の会名をご記入ください(こちらに個人情報を記入しないでください)

【備考】作品は**自作、未発表**のものに限ります。佳作を含めた全ての入賞作品の著作権は、主催者に帰属するものとし、本コンクールの入賞作品集やホームページ等に使用することがあります。なお、応募作品の返却、訂正はいたしません。

【主催】一般社団法人 倫理研究所

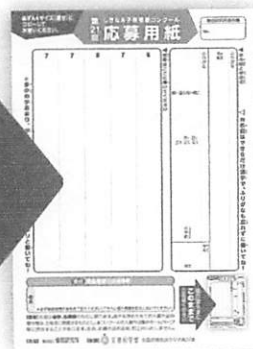
【後援】



文部科学省

全国民間放送ラジオ局37社

切り取りずに、
このままで
応募ください



ごはん お米とわたし

作文・図画コンクール

第50回

課題

(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや
家族とのコミュニケーション、
お米・ごはん食に関する思い出や
考えたことなどを素直な気持ちで
自由に表現して下さい。

作品
募集中!

国消国産
こくしょうこくさん

美味ちゃん ©みんなのよい食プロジェクト

2025年、ごはん・お米とわたし 作文・図画コンクールは50回を迎えます。
※各都道府県によって実施回数は異なる場合があります

「国消国産(こくしょうこくさん)」とは、
自分たちが食べる食材は、できるだけ
自分たちの国でつくるという考え方です。
詳しくは特設サイトからご覧いただけます。



50th
Anniversary

しめきり日 令和7年9月12日(金) 必着

応募 埼玉県内のもよりのJAへ(※学校を通じてご応募ください)
問い合わせ先 JA埼玉県中央会 連絡先 TEL.048-829-3309

応募資格 小学校および中学校に在籍する児童・生徒。特別支援学校の小学部・中学部に在籍する児童・生徒。

- 【作文部門】**
- 1部 小学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
 - 2部 小学校4年生～6年生 (400字詰め原稿用紙3枚以内)
 - 3部 中学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙4枚以内)
- 【図画部門】**
- 1部 小学校1年生～3年生 (B3判、もしくは四つ切りの市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。)
 - 2部 小学校4年生～6年生
 - 3部 中学校1年生～3年生

賞	
内閣総理大臣賞	作文・図画部門各1名……………計2名
文部科学大臣賞	各部門各部門ごとに1名……………計6名
農林水産大臣賞	各部門各部門ごとに1名……………計6名
全国農業協同組合中央会会長賞	各部門各部門ごとに1名……………計6名
優秀賞	各部門各部門ごとに15名……………計90名
学校奨励賞	内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣各賞受賞者所属校……計14校

※各部門には審査基準がありますので、詳細については上記お問い合わせ先までご連絡下さい。

主催：農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会／全国農業協同組合中央会
後援：文部科学省／農林水産省／こども家庭庁／全国都道府県教育委員会連合会／全国市町村教育委員会連合会／日本放送協会(NHK)／全国連合小学校長会／全日本中学校長会／(公社)全国学校図書館協議会／(公社)日本PTA全国協議会／(公社)米穀安定供給確保支援機構
協賛：全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合連合会／農林中央金庫／(一社)家の光協会／(株)日本農業新聞／全国厚生農業協同組合連合会／(一社)全国農協観光協会

耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

本コンクールは、みんなのよい食プロジェクトの一環として取り組んでいる事業です。過去の受賞作品は、JAグループHPからご覧いただけます。



「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール



笑味ちゃん ©みんなのよい食プロジェクト

JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することをつうじて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食の重要性を広く周知するために開催しています。

＜過去の受賞作品＞ JAグループHP(<https://life.ja-group.jp/education/contest/>)でもご覧いただけます。

※学年は受賞当時のものです。

図画部門

第47回内閣総理大臣賞



「みんなで稲刈り」

佐賀県 佐賀県立武雄青陵中学校3年
高森 薫さん

第48回内閣総理大臣賞



「力いっぱい炊きあがれ」

埼玉県 狭山市立山王小学校6年
津久戸 花実さん

第49回内閣総理大臣賞



「おこめのさと」

京都府 木津川市立恭仁小学校1年
山岡 彩葉さん

作文部門

第49回内閣総理大臣賞

「当たり前のご飯のありがたさ」

青森県 青森市立浦町中学校2年
若宮 遙希さん

小学校三年生の冬、僕が人生で初めてお米を研いだ日、弟が入院した。当時の僕は、父の転勤先である仙台市に住んでいた。小学校一年生の弟は母親に注意されながらも、寒い冬の中、毎日短パンで登校していた。そんな日々が続いた時、弟は突然高熱を出し、病院に行くことになった。病院は親が二十四時間付き添う必要があった。

児童館のお迎えに間に合わない。母から連絡が入ったようで、僕は一人で児童館から家に帰った。誰もいない家の鍵を一人で開け、真っ暗な部屋に電気をつけ、わざと大きな音を出してテレビをつけた。病院から一旦帰ってきた母に、

「僕にできること何かある？」と聞くと、

「お米研いでくれたら嬉しいけど……」

「うん、できるよ！」と、思えばなぜかと言ってしまったのだろうか。忙しい母と苦しんでいる弟の為に何か僕にもできることがないだろうかと思っていたからだろう。

「ありがとう。助かる」と言い残し、慌ただしく買い物に行ってしまった。当時、スマホもなく自分で調べることができなかった僕は、母のお米を研いでいる姿を思い出し、研ぐことにした。

お米はカップに三回分(三合)家庭科で「すりきり一杯」を習う前の当時の僕は、適当に山盛り三回分のお米を取り、そのお米と水を釜に入れ、研いでみた。母の研ぐような「ジャツ、ジャツ」という音がしない。水が多すぎると気づき、ジャツと水を捨てたら、お米も勢いよくたくさん出てきてしまった。今度は少なめの水で研いでみると「ジャツ、ジャツ」という音になり安心した。一体これは何回やるのだろうか。とにかく何度か研いで水をに入れて、捨てて研いでを繰り返した。三十分は経ったのだろうか。十回以上やっても水には少し白い色がついてくる。(これ、いつまでやるのか)いつまでも少し濁る水を見て、真冬の台所で冷たい水で手が真赤になり、水を流す度にこぼれていくたくさんのお米を見ながら、僕の目から涙がこぼれた。

母がやっと買い物から戻り、僕の姿を見た時、僕の冷たい手を母は両手で包んでくれた。「ありがと、ごめんね。」と泣きながら包んだ母の手も僕と同じくらいに冷たかった。なぜ、母は泣いているのだろうか。もしかして、弟の具合が悪いのだろうか。怖くて聞けないまま、頭の中でぐるぐる考えていた。

「ちゃんと教えてなかったのに、よくできたね。」と、炊けるまでのお風呂に入って「母が買ってきたさとうきびと僕の初めて炊いたご飯で食べた二人だけの晩ご飯。いつも父といるさとうきびの食卓が今日はシーンとしていた。お米はいつもより固くておいしくなかったが、母は「おいしくできたね」と言った。ご飯がおいしくなかった理由は他にもあることは当時の僕でもわかっていった。

弟の入院は七日目に突然終わった。入院中だった青森の祖母が亡くなったのだ。弟の病状に事情を説明し、安静にすることを条件に慌ただしく退院し、青森に向かった。祖母の死に目に会えなかった僕は、疲れと悲しみでいっぱいだった。こんなにも悲しい時でもお腹は減った。誰かが用意してくれたいた塩おにぎりを食べた。こんな時でもおにぎりをパクパク食べている弟を横目で見ながら、食欲が出た弟を見て嬉しく思った。久しぶりに家族揃って食べたおにぎりはとてもおいしかった。家族四人が当たり前前ではなかった七日間を経て、当たり前前に食べられる「ご飯のありがたさ」といしさを知った。

今は時々手伝いでお米を研ぐ。お米を研ぎながら、僕は当たり前前のありがたさを時々思い出している。これからもおいしいご飯を毎日食べられますように。

応募総数

第49回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール

作文部門:27,609点 図画部門:41,104点

第50回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 全国審査会／表彰式日程

【全国審査会】

作文本審査会:2025年11月11日(火)
図画本審査会:2025年11月14日(金)
会場:JAビル(東京・大手町)

【表彰式】

日時:2026年1月10日(土)
会場:日経ホール



きりとり線

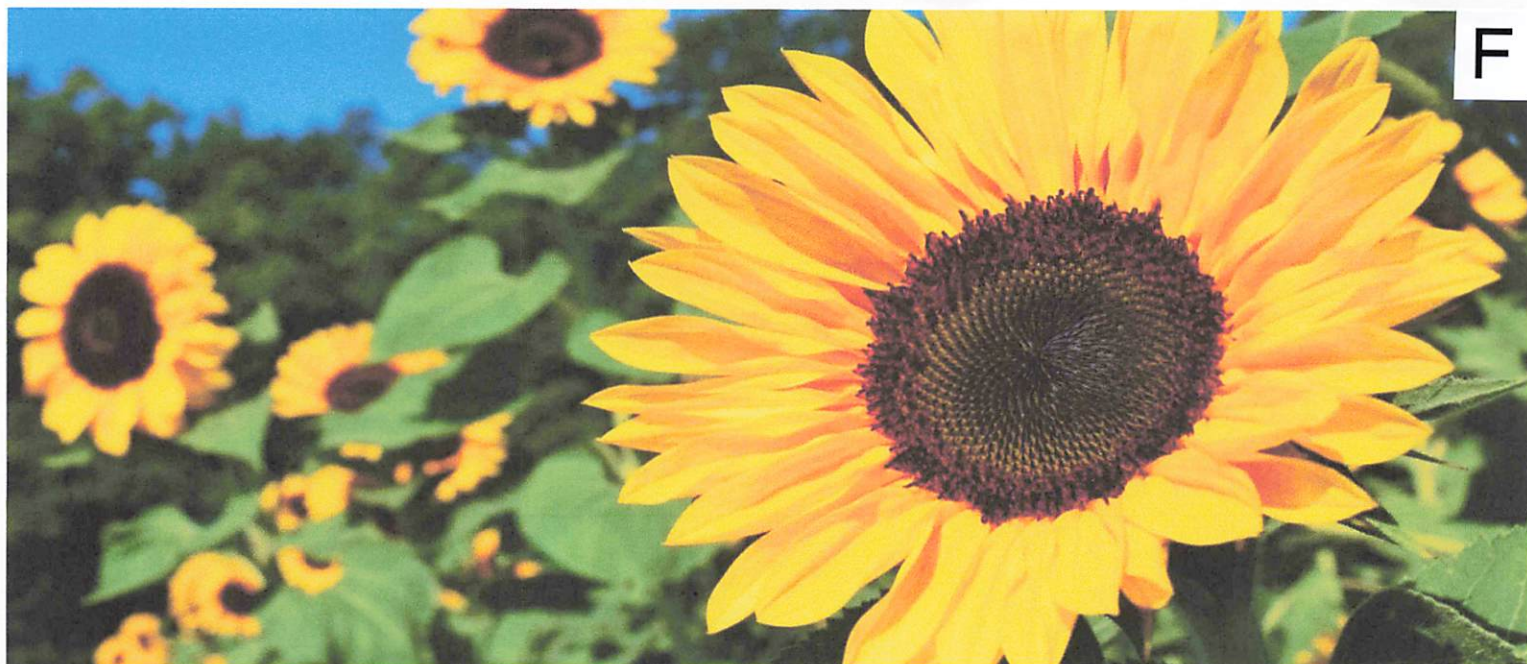
個人作品添付用応募票

作品番号	都道府県コード 11	作品番号（記入しない）	部門 作文・図画
フリガナ			
作品の題名			
フリガナ			
氏 名			
フリガナ	シラオカシリツミナミショウガッコウ		学 年
学校名	白岡市立南小 学校		年 組
学校所在地	埼玉県白岡市小久喜524-1		
電話番号	0480-92-5642		
当該JA名			

きりとり線

個人作品添付用応募票

作品番号	都道府県コード 11	作品番号（記入しない）	部門 作文・図画
フリガナ			
作品の題名			
フリガナ			
氏 名			
フリガナ	シラオカシリツミナミショウガッコウ		学 年
学校名	白岡市立南小 学校		年 組
学校所在地	埼玉県白岡市小久喜524-1		
電話番号	0480-92-5642		
当該JA名			



“社会を明るくする運動” 作文コンテスト

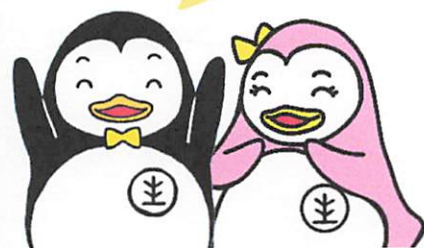
あなたの考えや経験が
犯罪や非行のない明るい社会を作ります

提出締切 8月28日まで

たくさんの
応募を
まってるよ～

作文にはどんなことを書けばいいの？

家族・家庭、学校、地域、社会でのできごとなどを通して、犯罪や非行などについて自分が考えたことや感じたこと、体験したことを作文にしてみましょう。



これまでの入賞作品には次のようなものがあります。

- ある朝見たニュースがきっかけとなり、どうすれば犯罪のない社会をつくることができるのかについて考えたもの
- 保護司さんへのインタビューを通して、生きづらさとは何かについて考えたもの
- 加害者家族がSNS上で誹謗中傷されていることに対して疑問を持ち、本当の正義とは何か考えたもの
- 学校のあいさつ運動を通して、犯罪や非行のない社会を作るためにはあいさつが大切だという気持ちをつづったもの

作文コンテスト
特設ページ



“社会を明るくする
運動”ウェブサイト

